

青森県…済州特別自治道（大韓民国）

Jeju-teukbyeoljachido, Korea

- 1 提携年月日 平成23年12月7日（友好交流協定書調印の日）
平成28年8月8日（姉妹提携協定調印の日：友好交流協定格上げ）
平成29年8月7日（県議会と道議会との友好交流協定調印の日）

2 済州特別自治道の概況

済州島は、朝鮮半島の西南、日本海、東シナ海、黄海の間にある韓国の最南端（高知県や福岡県と同緯度）に位置する火山島であり、その付属島嶼と併せて大韓民国済州特別自治道を構成する。

付近を暖流である対馬海流が流れているため、大陸性気候により冬の寒さが厳しい韓国の中では最も気候が温暖で、韓国国内では「韓国のハワイ」とも呼ばれる。しかし、実際には、冬になると半島部と同様の北西季節風の影響や島の中央に漢拏山（標高 1950m、韓国最高峰）がそびえる地形的要因により、非常に風が強く島の南北の気温差が大きい。

日本では長崎県の五島列島に一番近く、約 180 キロメートルの距離がある。また韓国では数少ない自然湖である火口湖がある。韓国でミカンの最大産地である。

人口は約 66 万人、面積は 1,850km²。15 世紀初めごろまでは耽羅という独立した王国があった。

済州特別自治道の国際交流状況

姉妹都市：6ヶ国6ヶ所

中国(海南省)、アメリカ(ハワイ)、インドネシア(バリ)、ロシア(サハリン)、ポルトガル(マデイラ)、日本(青森)

友好協力地域：5ヶ国10ヶ所

日本(静岡・北海道・沖縄)、台湾(台北)、中国(大連・上海・四川・黒竜江省)、ベトナム(Kien Giang)、オーストラリア(タスマニア)

3 友好提携までの経緯

県と済州特別自治道とは、平成 21（2009）年7月、11月に三村知事が公式訪問して以来、これまで実務者レベル（部長級）での合意書を締結したほか、平成 22（2010）年10月には環境生活部と済州特別自治道世界自然遺産管理本部との間で、姉妹協力協定書を締結し、交流・協力を推進してきた。

平成 23 年（2011）7 月、済州特別自治道との交流を一層進めるため、三村知事が禹 瑾敏（ウグンミン）済州特別自治道知事を表敬訪問し、禹知事の本県への来県や交流推進に関する協定書の締結など交流活性化のための提案を行なったところ、本県知事からの提案を受けて禹知事が12月に本県を訪問し、友好交流協定を締結したものである。

平成 28 年（2016）8 月には、友好交流協定から5年目になることを契機として、これまでの交流を更に拡大していくため、済州特別自治道の元喜龍（ウォン ヒリョン）知事が来県し、友好交流協定を格上げする形で姉妹提携協定を締結した。

平成 29 年（2017）8 月には、済州特別自治道議会の申寛弘（シン グァンホン）議長が来県

し、青森県議会との間で友好交流協定を締結した。

4 交流の現状

濟州特別自治道とは、現在も活発な交流を行っており、平成 25 年 6 月には濟州世界遺産委員会姜萬生副委員長ら 17 名が、弘前市での「白神山地世界遺産登録 20 周年記念事業オープニングセレモニー」に出席し、翌日、暗門の滝周辺を散策した。同年 7 月には、濟州特別自治道へ先進地調査（観光国際戦略局長ら 14 名）を実施し、コムンオルム国際トレッキングに参加した。同年 10 月には、濟州オルレウオーキングフェスティバルに県関係者が参加した。今後も人的交流が活発に行われるよう取組を進めることとしている。

5 交流の主な動き

平成 21 年 7 月 知事を団長とするミッション団が濟州特別自治道を訪問
平成 21 年 11 月 知事を団長とするミッション団が濟州特別自治道を訪問
平成 21 年 11 月 県ウォーキング協会が濟州特別自治道を訪問
平成 21 年 12 月 濟州特別自治道関係者が来県、白神山地視察
平成 22 年 3 月 白神山地関係者が濟州特別自治道を訪問し、現地山岳会とハルラ山の共同トレッキング
平成 22 年 5 月 西帰浦市関係者が弘前市での「津軽路ロマン国際ツーデーマーチ」へ参加
平成 22 年 9 月 青山副知事を団長とするミッション団が濟州特別自治道を訪問
平成 22 年 10 月 環境生活部と濟州特別自治道世界自然遺産管理本部との間で、姉妹協力協定書を締結
平成 22 年 11 月 西帰浦市代表団が来県し、エネルギー関連施設の視察
平成 22 年 11 月 濟州特別自治道関係者が来県、白神山地視察
平成 23 年 3 月 西帰浦市菜の花ウォーキング大会に県関係者が参加
平成 23 年 7 月 知事を団長とするミッション団が濟州特別自治道を訪問
平成 23 年 12 月 濟州特別自治道禹知事が来県し、本県と友好交流協定を締結
平成 24 年 2 月 濟州特別自治道職員の青森県への派遣（～平成 24 年 12 月）
平成 24 年 3 月 西帰浦市菜の花ウォーキング大会に県ウォーキング協会 52 名が参加
平成 24 年 6 月 知事第 7 回濟州フォーラム参加『地方の世界化(世界を動かす)』をテーマに発表
平成 24 年 6 月 濟州特別自治道関係者が来県、県内の地ビール工場視察
平成 24 年 9 月 環境生活部長濟州特別自治道庁訪問・打合せ WCC フォーラムで本県の PR を実施
平成 24 年 12 月 佐々木副知事が濟州国際空港で青森プロモーションを実施
平成 25 年 2 月 濟州特別自治道金副知事が来県、風力発電施設視察
平成 25 年 6 月 濟州世界遺産委員会姜萬生副委員長ら 17 名が、弘前市での「白神山地世界遺産登録 20 周年記念事業オープニングセレモニー」に出席。翌日、暗門の滝周辺を散策。
平成 25 年 7 月 濟州特別自治道へ先進地調査（観光国際戦略局長ら 14 名）を実施。コムンオルム国際トレッキングへ参加
平成 25 年 10 月 濟州オルレウオーキングフェスティバルに県関係者が参加
平成 26 年 3 月 濟州プロモーションウィーク in 青森を青森市で開催
平成 26 年 6 月 在濟州日本国総領事館及び濟州商工会議所、濟州特別自治道韓日親善協会主催ワ

ークショップに県関係者が参加

- 平成 26 年 7 月 青山副知事を団長とするミッション団が済州特別自治道を訪問
- 平成 26 年 10 月 済州・耽羅文化祭に青森県ブースを出展し、本県の PR を実施
- 平成 26 年 12 月 世界自然遺産漢拏山研究院職員が環境生活部・白神山地ビジターセンターを訪問
- 平成 27 年 2 月 済州特別自治道職員の青森県への派遣（～平成 27 年 12 月）
- 平成 27 年 2 月 環境生活部次長等が世界自然遺産漢拏山研究院を訪問
- 平成 27 年 4 月 弘前さくらまつり・おもてなしプロジェクト 2015 会場に済州観光 PR ブースを出展し、済州の PR を実施
- 平成 27 年 5 月 企画政策部次長ほかによるミッション団が済州特別自治道を訪問し、世界自然遺産漢拏山研究院等を視察
- 平成 27 年 8 月 青山副知事を団長とするミッション団が済州特別自治道を訪問。県環境生活部と済州特別自治道世界自然遺産管理本部との間で、姉妹協力の再協定締結
- 平成 27 年 10 月 済州・耽羅文化祭に青森県ブースを出展し、本県の PR を実施
- 平成 27 年 10 月 済州特別自治道の漢拏日報社が来県、東奥日報社と友好交流協約を締結
- 平成 27 年 11 月 済州商工会議所関係者が来県、りんご公園等視察
- 平成 28 年 6 月 済州特別自治道 世界遺産・漢拏山研究院関係者が来県、白神山地まるごと体験博覧会オープニングセレモニーに出席
- 平成 28 年 7 月 環境生活部次長ほかが済州特別自治道を訪問し、コムンオルム国際トレッキングオープニングセレモニーに出席
- 平成 28 年 8 月 済州特別自治道 元喜龍（ウォンヒリョン）知事が来県し、本県と姉妹提携協定を締結
- 平成 28 年 8 月 済州サイクリング協会幹部を招聘し、五所川原市で開催されるサイクリング大会や県内サイクリングコースの視察
- 平成 28 年 9 月 県内サイクリング協会が済州のサイクリング大会等を視察
- 平成 28 年 11 月 済州青少年国際フォーラムに本県高校教員 6 名ほかに参加
- 平成 28 年 11 月 本県弘前・白神アップルマラソン上位入賞者が済州みかんマラソンに参加
- 平成 28 年 11 月 済州で開催された天皇誕生日レセプションに県職員が参加し、青森県 PR するとともに、済州商工会議所会、民間団体等を訪問し、交流可能性調査
- 平成 28 年 12 月 済州道立美術館長ほか美術館関係者、済州道議会事務処長ほかが来県
- 平成 29 年 1 月 知事を団長とするミッション団が済州特別自治道を訪問
- 平成 29 年 2 月 青森県、五所川原市、五所川原市サイクリング協会が済州特別自治道のサイクリング環境等を視察
- 平成 29 年 3 月 済州特別自治道の著名ブロガー 2 名が来県し、青森県内の観光地等を巡り、ブログ、SNS で情報発信（東奥日報社女子マル企画と連動）
- 平成 29 年 3 月 済州特別自治道から体育振興課長ほか生涯スポーツ関係者が来県し、県内の生涯スポーツ、アップルマラソン、五所川原市サイクリング関係者と意見交換。県内スポーツイベント等の情報交換や行政支援について意見交換を行った。
- 平成 29 年 4 月 済州特別自治道観光政策課、済州観光公社の観光関係者が来県し、弘前さくらまつり期間を利用して、青森県と共同で済州特別自治道の観光ブースを弘前市観光館特設スペースに設置し、済州特別自治道の魅力発信と青森ソウル線の利用促進を PR した。

- 平成 29 年 5 月 八戸学院大学が済州道での合宿開催を視野に済州道のサイクリング環境を視察するとともに済州サイクル連盟と交流した。
- 平成 29 年 8 月 済州特別自治道安東佑（アン ドンウ）政務副知事及び済州特別自治道議会申寛弘（シン グァンホン）議長が来県し、ねぶた体験、県内視察を通し本県への理解を深めるとともに姉妹提携協定締結一周年を祝う。青森県議会と済州道議会は友好交流協定を締結（8 月 7 日）。
- 平成 29 年 9 月 青森県ユネスコ協会が済州道を訪問し、済州ユネスコ協会と交流会を実施。佐々木副知事及び熊谷議長が済州道を訪問し、元喜龍（ウォンヒリョン）知事、尹春光（ユンチュングァン）副議長に表敬訪問。済州世界自然遺産登録十周年記念式典に参加。関連行事であるグローバルフォーラムで自然保護課長が世界自然遺産「白神山地」に保全と活用に関する事例発表したほか、青森県 PR ブース設置。五所川原市職員 2 名、五所川原市サイクリング協会から 1 名が済州国際サイクリングフェスティバルに参加し、五所川原市を PR。青森県観光連盟が済州観光協会を訪問し、交流可能性を調査。
- 平成 29 年 9 月 東奥日報社女子マル企画の 5 周年記念事業で青森県内女性 9 人が済州道ツアーに参加。
- 平成 29 年 10 月 駐日本大韓民国大使館主催の文化交流イベント「韓日文化キャラバン in 青森」がリンクステーションホール青森で開催。済州特別自治道から安（アン）政務副知事が出席、挨拶。済州道のパフォーマンス集団「タ；アクドン」が伝統楽器とダンスを組み合わせたパフォーマンスを披露。
- 平成 29 年 10 月 アップルマラソンに済州から選手 3 人が参加。
- 平成 29 年 11 月 済州みかんマラソンに本県選手 3 人が参加。
- 平成 29 年 11 月 本県の高校生 4 人、教諭等 2 人が済州青少年国際フォーラムに参加。
- 平成 29 年 11 月 青森県のサイクリスト 2 人が済州道の招待プログラムを受け、済州サイクル連盟会長杯サイクリング大会に参加。
- 平成 29 年 11 月 済州で開催された天皇誕生日レセプション（在済州日本国総領事館主催）に県職員が参加。
- 平成 30 年 1 月 本県の小学生 6 人が済州道立美術館で済州道の児童と図画工作を通じた交流を実施。
- 平成 30 年 4 月 済州特別自治道通商企業支援課、済州通商振興院東京事務所、済州観光公社の職員が来青し、弘前さくらまつり期間に、弘前市観光館にて物産・観光ブースを設置し、済州特別自治道の魅力を発信した。
- 平成 30 年 5 月 済州特別自治道世界自然遺産本部からキムチャンゾ本部長ほか 3 名が来青し、佐々木副知事表敬及び世界自然遺産白神山地の視察を行った。
- 平成 30 年 7 月 弘前市で開催されたダンスパフォーマンスイベント「SHIRO FES 2018」に済州道のパフォーマンス集団「タ；アクドン」6 名が出演し、伝統楽器による演奏とダンスを融合させたパフォーマンスを披露した。
- 平成 30 年 7 月 済州道で開催された済州国際トレッキング大会に県環境生活部長ほか 2 名が参加。
- 平成 30 年 7 月 済州道から 6 名の児童及び道立美術館職員 2 名が来青し、青森県立美術館において、本県児童と図画工作を通じた交流及び野外学習を実施。
- 平成 30 年 7 月 本県児童 10 名が済州道を訪問し、済州道立美術館において、済州道児童 9 名と図画工作を通じた交流及び野外学習を実施。

平成 30 年 8 月 津軽半島センチュリーランに済州道から 3 名のサイクリストが参加。

平成 30 年 9 月 済州サイクリングフェスティバルに五所川原市サイクリング協会 1 名、五所川原市職員 2 名が参加。

平成 30 年 11 月 済州国際青少年フォーラムに本県高校生 4 名、教員等 2 名が参加。

平成 30 年 11 月 観光国際戦略局次長及び西目屋村村長、西目屋村議会議長をはじめとする訪問団 15 名が済州みかん国際マラソンで選手激励、済州特別自治道チョンソンテ行政副知事等を表敬訪問したほか、クルーズターミナルビル等の済州国際港等を視察した。

平成 30 年 11 月 株式会社青森テレビと株式会社済州放送が放送姉妹提携協定を締結。

平成 30 年 11 月 韓日観光交流のタベに済州道出身の韓国人俳優ソ・ジソク氏が出演し、済州道の魅力を紹介するトークショーを実施。同会場ロビーにて、済州観光公社による観光 PR ブース及び済州道との交流パネルを設置。

平成 31 年 4 月 世界自然遺産写真交流展を両地域において開催。

令和元年 7 月 子どもの美術交流の実施に合わせ、漢拏日報社記者を 3 名招請し、交流の状況及び観光コンテンツを取材。

令和元年 10 月 タムナ文化祭に津軽手踊り等 9 名が参加し、青森県の文化を紹介。

令和元年 12 月 「国際文化雑誌記者 in 済州村」に東奥日報記者 2 名が参加し、済州道の情報を新聞に掲載。

令和 2 年 2 月 観光国際戦略局次長等が済州道を訪問し、金行政副知事を表敬した。

令和 3 年 2 月 在済州日本国総領事館主催「2020 年済州こども絵画コンクール」において、応募作品 158 点のうち 6 点について青森県特別賞を授与した。

令和 3 年 3 月 済州市内で開催された「東日本大震災 10 周年式典」において、三村知事のメッセージ動画を提供した。

令和 3 年 3 月 友好交流協定 10 周年・姉妹提携協定 5 周年に当たり、元喜龍（ウォン ヒリョン）済州道知事と三村知事によるオンライン面談を行った。

令和 3 年 10 月 タムナ文化祭において、三村知事の動画メッセージを提供したほか、青森県及び済州道の演奏者 9 名による合奏をオンラインで行った。

令和 4 年 7 月 コロナ禍後の交流再開に向けて、観光国際戦略局長が知事親書を持参して済州道庁を訪問し、ク・マンソプ行政副知事を表敬した。

令和 4 年 12 月 済州道環境保全局生活環境課長等が来青し、先進地視察として県内廃棄物処理施設の見学や関係者との意見交換等を実施。

令和 5 年 3 月 子どもの美術交流プログラムとして、青森県立美術館と済州道文学館をオンラインで繋ぎ、青森県 8 名、済州道 12 名の児童が美術作品等の創作体験を実施。

令和 5 年 8 月 済州放送のイ・ヨンタク社長が来青し、宮下知事を表敬訪問。

令和 5 年 11 月 漢拏日報の記者等が来青し、県内を巡る取材ツアーを実施。

令和 6 年 1 月 済州交流推進ミッション団（宮下知事、丸井県議会議長ほか）が済州特別自治道を訪問し、姉妹提携協定や友好交流協定に基づく交流の再開・推進を図った。

令和 6 年 6 月 青森県庁職員及び青森商工会議所が済州特別自治道及び済州商工会議所を訪問。

令和 6 年 8 月 青森ねぶた祭で済州特別自治道トルハルバン前ねぶたを運行。

令和 6 年 9 月 済州特別自治道議会が来青し、青森県議会を訪問。

令和 6 年 10 月 青森県庁職員（自然保護課）が世界自然遺産グローバルフォーラムへ参加。